

Shipping Guide

金

日刊(土・日曜、祭日休刊) 昭和50年12月20日 第3種郵便物認可 1部416円
発行所 株式会社 オーシャンコマース 〒105-0013 東京都港区浜松町1丁目2番11号(葵ビル)
TEL:(03)3435-7470(編集)・7510(広告・スケジュール)・7630(販売・総務)
FAX:(03)3435-7892(編集・広告・スケジュール) ☎:0120-827-773(購読・書籍のお問い合わせ、申し込み)

(4)

SHIPPING GUIDE, Friday, March 24, 2017

<第三種郵便物認可>

26日の全日スト決行、来2日も通告

港湾春闘 産別中央団交なお煮詰まらず

日本港運協会と全国港湾労働組合連合会／全日本港湾運輸労働組合同盟は23日、港湾春闘第4回目の産別中央団交を開いたが、話し合いは平行線のままで打ち切られた。このため労働側はさきに通告済みの26日にストを決行する。具体的には同日始業時から27日始業時までの全港全職種による24時間の就労拒否および荷役阻

止行動を行う。港湾ストは2年ぶりとなるが、加えて4月2日にも同様のストを構えるとして上乗せ行動を口頭で通告した。中央団交再開のメドは立っていない。

この日は、日港協から港運関連事業の基盤強化は意見交換会で検討すること、地区団交権確立は体制としては整っている地区もあるものの検討課題とし、さら

に改正SOLAS条約対応の第三者重量証明機関として海事検定など4検起用の要求を含む前回未回答の3項目についても回答があった。しかし、全体として各社の事情が異なり個別対応を趣旨とした日港協の考えと労働側の要求とが煮詰まらず、話し合いは進展しなかった。

一方、労働側が産別労使

としての主要テーマとする産別最低賃金の改訂については、日港協の企業内労使の個別交渉とする方針を受け昨年の11・10協定を承認するかたちで各社単位の縦割り交渉として労働側も対応しはば集約している。

この日はこれを踏まえて労働側が各社交渉の結果をもとに産別協定化する考えを主張したが、日港協は産別としての協定化には難色を示しており、話し合いは平行線で終始、「決裂状態」に陥りスト決行となった。全国港湾は27日に戦術委員会を開き対応を検討する。

海事新聞 3/24

港湾春闘

労使決裂 26日スト実施

24日 日曜 「4月2日」上乗せ通告も

2017年港湾春闘は23日午後、東京都内で開かれた第4回中央団交交渉が決裂。組合側が通告していた26日始業時からの日曜24時間ストライキ(全港・全職種)突入が確定した。春闘での港湾スト実施は2年ぶり。

23日の第4回団交では日港協から複数の項目で組合側に回答が示されたが、産別最低賃金の扱など労使間の隔たりは大きい。現時点では春闘収束の出口が見えない状況で、交渉が長期化する可能性も出始めた。

日曜スト実施は、もとより、緊迫した局面に入

23日の第4回団交では日港協から複数の項目で組合側に回答が示されたが、産別最低賃金の扱など労使間の隔たりは大きい。現時点では春闘収束の出口が見えない状況で、交渉が長期化する可能性も出始めた。

もと寄港船や荷役が少

ないため平日ストに比べ

て影響は限定的だが、荷

主企業のサプライチェーン

が一定期間寸断される

ことに変わりはない。ま

た年度末と重なるため、

現場の混乱も予想され

る。